

## 生理化学研究ユニット第6回シンポジウム

# Chemistryで紐解くPhysiology

日時： 平成28年12月22日(木) 午後1時15分から  
会場： 京都大学農学部大講義室 (W100)

招待講演 16時25分～

「細胞創傷治癒 –その分子機構と老化との関連–」

河野恵子 (名古屋市立大学大学院医学研究科)

招待講演 17時05分～

「RNAスプライシングを操作すれば遺伝情報の異常を是正できるか？」

萩原正敏 (京都大学大学院医学研究科)

ユニット成果報告 13時20分～

「情動および摂食調節作用を示す経口投与で有効な中鎖ペプチドと腸-脳連関」

大日向耕作 (京都大学大学院農学研究科)

「食品由来化合物を用いた疾患予防に向けた研究」

久米利明 (京都大学大学院薬学研究科)

「肥満・エネルギー代謝と食品機能」

河田照雄 (京都大学大学院農学研究科)

「Tafazzinによるカルジオリピン脂肪鎖の組み換え機構」

三芳秀人 (京都大学大学院農学研究科)

「小胞体カウンターイオンチャネルTRIC-Bの骨形成における生理機能」

市村敦彦 (京都大学大学院薬学研究科)

「細胞内の局所的レドックスを指標にした生理化学」

阪井康能 (京都大学大学院農学研究科)

本シンポジウムは、平成28年度研究科横断型研究プログラム大学院講義「生理化学概論」(農学研究科・薬学研究科; 2単位)の一環として行いますので、履修希望者は講義とあわせて出席すること。

連絡先：京都大学大学院農学研究科応用生命科学専攻内 阪井康能

E-mail : jimuphysichem@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp WEB : <http://www.physichem.kais.kyoto-u.ac.jp/>

平成 28 年度 京都大学研究科横断型研究プログラム(農学・薬学)大学院講義

2016 年度 生理化学概論 (集中講義)

農学部総合館 W506

日時	担当教員	タイトル
12/21 (水) 1 限	(阪井 康能) 寶関 淳	序) 生理化学研究ユニットの紹介 タンパク質品質管理のレドックス制御
2 限	植田 和光	動脈硬化を防ぐ ABC 蛋白質
3 限	村上 一馬	$\beta$ アミロイドとアルツハイマー病の生理化学
4 限	掛谷 秀昭	多因子疾患治療薬シーズの探索・開発
	石川 文洋	創薬シーズ開発を指向した生合成研究： 天然にはないものをつくる技術基盤
5 限	野村 亘	肥満・エネルギー代謝と食品の機能性
12/22 (木) 1 限	大野 浩章	創薬テンプレートの構築
2 限	安藤 晃規	機能性脂質の微生物生産

12/22 午後開催されるシンポジウム(農学部大講義室 W100)も 本大学院講義の一環として行いますので履修希望者は講義とあわせて必ず出席すること。

Web による履修届がなくても当日、出席により履修を確認します。

京都大学 学際融合教育推進センター  
生理化学研究ユニット第6回シンポジウム

Chemistry で紐解く Physiology

日時：平成28年12月22日(木) 13:15 -

会場：京都大学農学部大講義室 (W100)

- 13:15- 開会挨拶 阪井 康能 (京都大学大学院農学研究科)
- 13:20-  
「情動および摂食調節作用を示す経口投与で有効な中鎖ペプチドと腸-脳連関」  
大日向 耕作 (京都大学大学院農学研究科)
- 13:45-  
「食品由来化合物を用いた疾患予防に向けた研究」  
久米 利明 (京都大学大学院薬学研究科)
- 14:10-  
「肥満・エネルギー代謝と食品機能」  
河田 照雄 (京都大学大学院農学研究科)
- 14:40- 休憩
- 14:50-  
「Tafazzinによるカルジオリピン脂肪鎖の組み換え機構」  
三芳 秀人 (京都大学大学院農学研究科)
- 15:15-  
「小胞体カウンターイオンチャンネル TRIC-B の骨形成における生理機能」  
市村 敦彦 (京都大学大学院薬学研究科)
- 15:45-  
「細胞内の局所的レドックスを指標にした生理化学」  
阪井 康能 (京都大学大学院農学研究科)
- 16:15- 休憩
- 16:25- 招待講演 ①  
「細胞創傷治癒 -その分子機構と老化との関連-」  
河野 恵子 (名古屋市立大学大学院医学研究科)
- 17:05- 招待講演 ②  
「RNA スプライシングを操作すれば遺伝情報の異常を是正できるか？」  
萩原 正敏 (京都大学大学院医学研究科)
- 17:45- 閉会の挨拶